

地域住民の力で気軽に楽しく 自然体なサロンを開催

高齢者の交通事故防止のために



↑ 三島駐在所 三瓶裕(さんべ ゆう)巡査部長さん

去る11月12日、間方地区サロン「いきいきクラブ」は、『高齢歩行者教育システム』を活用しての交通安全教室を開催しました。

福島県警察本部より2名、会津坂下警察署1名、地元三島駐在所の三瓶巡査部長さんを招いてシステムを使って走行車両をスクリーンに映し出し、連続進行する走行車両の間をぬっての横断を体験しました。

道路横断の模擬体験を通じて、車の速さと横断の危険性、車が来る前に渡りきれぬか、加齢に伴う身体機能の変化等について模擬体験することができました。

会津坂下署管内においても交通事故が多発しており、高齢歩行者の事故が半数を占めています。夜間の外出の時には、目立つ色の服装を身につけ自分をドライバーに知らせるためにも夜行反射材を上手に活用して、自分の身を守ることも大切であるとの指導をいただきました。

増加傾向にある 「なりすまし詐欺」の被害

近年のなりすまし詐欺は、「振込型」被害が減る一方、「現金手渡し型」被害が増加しています。

又、件数は他と比べて少数ですが、レターパック等を使用した「現金送付型」では、一件あたりの被害額が高額になる傾向がみられます。

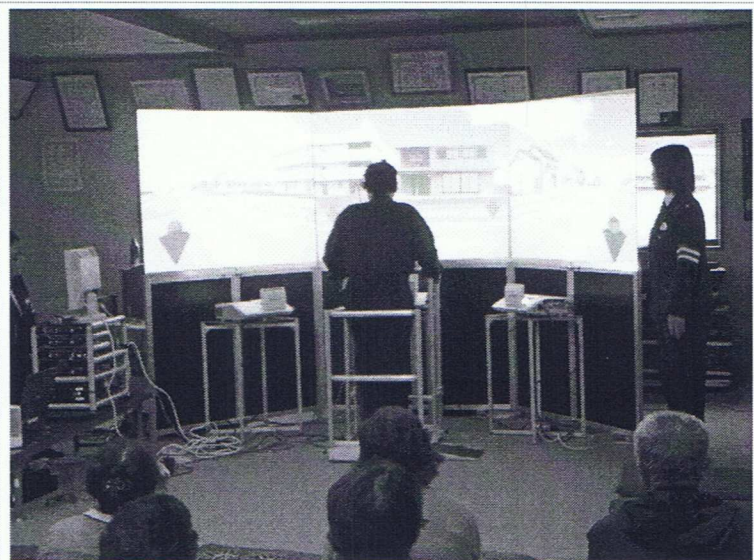
不審な電話があった時は、一人で悩まないで警察に連絡するか、息子や娘に相談するようにしましょう。又、日頃から詐欺被害の防止のために親子で話し合いを深め、詐欺被害にあわないようにしましょう。「自分は大丈夫」の過信は禁物です。

助け合う土壌の再生

「向こう三軒両隣」「遠い親せきより近くの他人」などと困った時に頼れる人は近所の人であるとの土壌が、このところ希薄になったと言われています。

先月長野県で発生した震度6弱の地震。これだけ大きな地震が起こった中でも「死者ゼロ」であったのは、地域の「結び付き」が明暗を分けたと言われています。暗闇の中でも「助けて」という声を聴いただけで、その人が誰でどこにいるか瞬時に判断できたことなど、地域の絆が共助につながった一例であると言えます。

積極的にサロンへ参加して、地域の多くの方たちと関わる機会を増やすことは地域全体で共に支え合う機運が生まれ、気づけば災害に備える地域づくりが構築されるとも言えますね。



← 普段利用する道路幅員と同じ仮想道路と走行車両が大型スクリーンに映し出されました。



三島町社会福祉協議会会員会費受納報告 御協力ありがとうございました

会員会費の総額 939,000円

◇一般会員(住民の皆さん)	679件	704口	704,000円
◇特別会員(社会福祉事業に理解があり協力された皆さん)	7件	7口	35,000円
◇賛助会員(会社・団体の皆さん)	18件	20口	200,000円
			<u>939,000円</u>

【一般会員地区別内訳】

宮下	150件	150口	150,000円
荒屋敷	16件	16口	16,000円
桑原	16件	16口	16,000円
中平	27件	27口	27,000円
大登	31件	31口	31,000円
川井	36件	40口	40,000円
桧原	42件	42口	42,000円
滝谷	41件	44口	44,000円
大谷	39件	40口	40,000円
浅岐	20件	22口	22,000円
間方	33件	33口	33,000円
西方	98件	108口	108,000円
大石田	52件	54口	54,000円
名入	29件	31口	31,000円
小山	4件	4口	4,000円
清水	18件	18口	18,000円
滝原	14件	15口	15,000円
早戸	13件	13口	13,000円
	679件	704口	704,000円

▽賛助会員の方々は下記の通りです▽

- ◇(有)只見川商事
- ◆(有)ドラッグイガラシ
- ◇会津信用金庫宮下支店
- ◆滝谷建設工業(株)
- ◇(有)栗城
- ◆(株)山モ齋藤商店
- ◇板橋モーター商会
- ◆(有)会津地鶏みしまや
- ◇JA会津みどり三島総合支店
- ◆(有)山中ファーム
- ◇奥会津書房
- ◆社会福祉法人みしま
- ◇(有)ニューワーク
- ◆会津桐タンス(株)
- ◇ログハウスどんぐり
- ◆佐久間建設工業(株)
- ◇早戸温泉つるの湯企業組合
- ◆(社)福島県建設業協会宮下支部
- ◇(有)マルシェ
- ◆羽賀建設工業(株)

(順不同)

平成26年度の「社協会費」納入について、多くの皆様にご理解とご協力をいただき心より御礼を申し上げます。皆様からお預かりした会費は有効に活用し、より良い地域づくりのための福祉事業を実施して参ります。今後ともより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



社会福祉協議会は、「社会福祉法」に基づき各都道府県や各市町村に1団体設置され、地域の皆様や社会福祉関係機関、団体との連携により様々な地域福祉活動を行っています。

本会の社協会費は各種の福祉事業(福祉機器の貸出・福祉バスの運行・サロン運営助成等)のための経費に充当しています。

ひとり暮らし高齢者親睦旅行

秋の会津をゆっくりめぐる旅

去る9月25日、毎年恒例の一人暮らし高齢者親睦旅行を開催しました。前日からの台風16号の接近に伴って、心配されていた天候もほとんど傘の出番もなく有意義な一日を過ごすことができました。当日の参加者は8名と例年よりは少なかったもののボランティアで参加して下さった民生委員3名の皆さんの協力もあって和気藹藹とバスの中でも笑い声の絶えない楽しい旅行になりました。

前日まで行けるかどうか不安だったという参加者の方も終わってみればやっぱり参加して良かったと話され、又来年元気に参加してくれることを約束し、たくさんのお土産と思い出を手は無事に帰路につきました。

ご参加いただいた皆さん、協力いただいた民生委員の皆さん、ありがとうございました。



↑参加者それぞれに交流を図りながら楽しい時間を過ごしました。

※一人暮らし高齢者親睦旅行の経費は、皆様からお寄せ頂いた赤い羽根共同募金の一部が使用されております。

介護が必要にならないために・・・

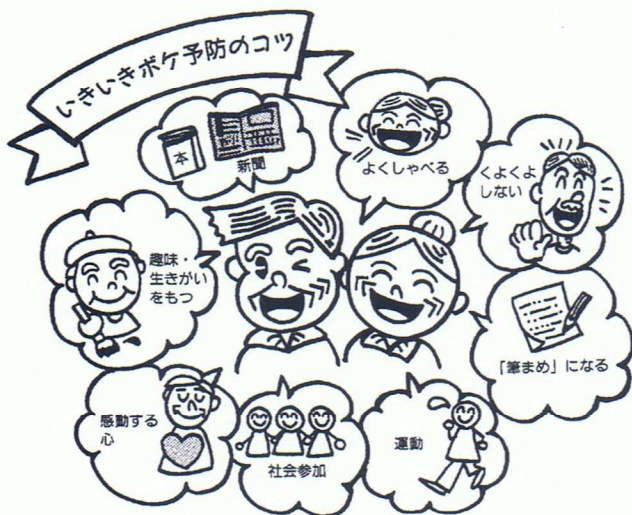
介護が必要になる前から「介護予防」に対して意識を高く持ち、地域で健康な生活を続けていけるように

介護予防とは、介護が必要な状態にならないように又、介護が必要な人も、できるだけ機能を維持・改善できるように心身の機能の低下を予防・回復しようとする取り組みです。

「物忘れが気になり始めた」「つまずくことが多くなった」「ムセることが増えた」といった、以前とは違うちょっとした不調のサインはありませんか？不調のサインを見逃すと、少しずつ生活機能の低下が進み、やがては転倒や骨折、認知症などを招くおそれがあります。

介護予防は決して特別なことではありません。不調のちょっとしたサインに早く気づいて対応することと、できるだけ心身ともに活発な生活を送ることが大切です。

いつまでもいきいきと自分らしく過ごせるように、元気なうちから介護予防に取り組みましょう。



「脳トレーニング（認知症予防のための脳トレ）」をやってみよう

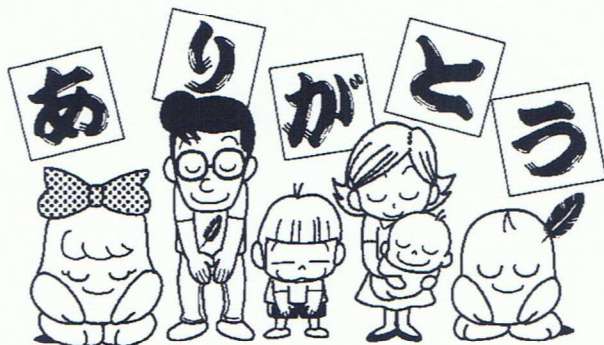
【トントンすりすり】（座って行います）

- ①右手はグーにして太ももを軽く『トントン』します。左手はパーにして太ももを『すりすり』します。
- ②右手は『トントン』しながら左手は『すりすり』を8回行います。
- ③つぎは、右手はパーにして太ももを『すりすり』し、左手はグーにして太ももを『トントン』します。
- ④右手は『すりすり』しながら、左手は『トントン』を8回行います。
- ①～④の動作を、「桃太郎」の歌に合わせて交互に行います。



平成26年度 赤い羽根共同募金運動報告

赤い羽根共同募金総額 453,049円



「赤い羽根共同募金」の募金活動は、今年で68回目を迎えました。当三島町におきましても、10月3日から各地区の区長様のご協力をいただきながら、平成26年度の募金活動を実施し、多くの皆様から善意の募金が寄せられました。

募金は、福島県共同募金会に一括送金し、福祉活動の充実・推進に役立てられるとともに、一部は地域福祉活動費として、三島町社会福祉協議会に配分されます。三島町では、ボランティア団体への補助金や除雪費の一部助成、高齢者の福祉充実などに役立てられます。

皆様の温かいご協力に感謝を申し上げます。

[地区別募金内訳]

宮	下	94,000円
荒	敷	9,000円
桑	原	9,000円
中	平	16,200円
大	登	19,200円
川	井	21,600円
滝	原	25,600円
大	谷	21,600円
浅	谷	24,600円
間	岐	12,000円
西	方	21,000円
大	方	60,000円
名	田	32,400円
小	入	16,200円
高	山	2,400円
滝	水	10,200円
早	原	9,600円
三	戸	9,600円
島	町	25,087円
役	場	
所	の	13,762円
他		
		453,049円

赤い羽根共同募金は 皆さんのやさしさで支えられています

「おもいやり みんなをつなぐ 赤い羽根」

平成26年度赤い羽根共同募金運動スローガン入選作品 最優秀賞



○共同募金って？

共同募金は社会福祉法に基づいた「自分の住む街の地域福祉の充実」のための募金です。毎年、厚生労働大臣が定める期間（10月1日～12月31日）に全国一斉に行われますが、「じぶんの町を良くするしくみ」として募金されたお金はその地域の福祉向上のために使われます。

また、集められた募金の一部は大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会で「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

○どんな組織なの？

都道府県共同募金の連絡調整を行う、全国組織としての中央共同募金会。実施主体である各都道府県共同募金会。そして第一線の活動組織として、市町村には支会、分会が組織されており、三島町では三島町社会福祉協議会が事務局を担当しています。



●編集・発行
社会福祉法人
三島町社会福祉協議会

〒969-7511
福島県大沼郡三島町大字宮下字下乙田889
TEL 0241(52)3344 FAX 0241(52)3343
E-mail: shakyo@town.mishima.fukushima.jp

日頃より三島町社会福祉協議会の事業にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

皆様、良いお年をお迎え下さい。

～地域でつながるみんなの輪～

三島町社会福祉協議会
役職員一同

